

コスモ石油グループ連結中期CSR計画（2005～2007年度）

連結中期CSR計画は、コスモ石油グループ全体でコスモ石油グループの社会的責任を再確認し、方向性をあわせて実践していくことを目的に策定したものです。

<中期計画のフレームワーク>

コスモ石油グループ全体で取り組む重点施策と、関係会社／事業所／部室で自発的に取り組む施策を組み合わせています。コスモ石油グループ全体での取り組みは、企業活動の土台である誠実な企業経営を実践する基盤の強化と、社会とコスモ石油グループの共生・成長をめざし、様々なCSRの切り口がある中、特に5つの項目を共通項目としています。

一方、CSRは日々の業務の中で実践されて初めて果たされるものであるため、各関係会社／事業所／部室でもそれぞれのCSRを考え、自立的、自主的に取り組むためのビジョンと施策をまとめ、進めているところです。

2005年度は基盤整備の年と位置づけ、できることから着手、施策の具体化を進めています。

1. コスモ石油グループ全体の取り組み

(1) 誠実な企業経営を実践する基盤強化

① 「社会的責任」の意識の浸透

各人の自覚と主体的な行動があって初めてCSRを果たすことができます。このような認識に基づき、意識浸透を重点項目に挙げています。

○全社的な意識共有化をめざし、教育・研修等を継続、強化していきます。

また、その浸透度合いを全社調査（「コスモサーベイ」）し、定期的に把握します。

○各関係会社や各部署において、業容に応じたCSRを経営／業務に反映するため、それぞれに勉強会の実施、業務目標への組み込みなどを進めていきます。

② リスクマネジメント・内部監査機能の強化

関係各社・各部署が自己管理できる内部統制体制の構築と牽制機能の強化を図ります。

○リスクマネジメント活動の実効性向上に向け、グループ横断的なリスク評価・対応を行うリスクマネジメント委員会を設置するとともに、セミナーやシミュレーション訓練によりリスクに対する感度の向上を図ります。

○関係会社各社の内部統制機能強化に向け、自己管理型リスクマネジメント活動を関係会社に展開するとともに、内部監査機能の強化を図ります。

③ 万全な安全管理の徹底（連結中期安全計画を策定）

エネルギー事業において安全操業はコスモ石油グループ、および社会にとって生命線となるテーマです。コスモ石油グループ全体で統率された安全管理体制を構築し、自主保安の取り組みによりさらなる安全レベル向上を図ります。

(2) 社会とコスモ石油グループの共生と成長に向けて

① 環境取り組みの高度化（連結中期環境計画を策定）

持続可能な社会の構築に資する取り組み（環境保全／貢献／啓発活動）と、環境リスク低減を図る取り組みを進めます。

② 人権／人事施策の充実（連結中期人権・人事計画を策定）

企業活動は一人ひとりの行動が基本です。個人、企業ともに創造的、革新的力を十分に発揮できる企業風土の構築をめざし、多様なライフスタイルの中で自己実現／成長を図れる人権／人事施策を推進します。

2. 各関係会社／事業所／部室の取り組み

それぞれの事業／業務において果たすべき社会的責任をまとめ、方針・行動計画を策定しています。

▶ 連結中期安全計画

1. 取り組みのポイント

安全操業・安定供給を維持していくために、以下の2つを取り組みの柱とした中期的な計画を策定し、安全管理活動に取り組んでいきます。

- (1) 自主保安に基づく安全管理体制を構築します。
 - 安全管理の継続的な改善が行える体制を構築します。
 - 事故の未然防止をめざした潜在的な危険の洗い出しと必要な対策を実施します。
 - 万一の事故・災害発生時の影響の最小化を図るため、対応手順を整備・充実します。
- (2) 必要な教育訓練を継続的に実施します。
 - 教育訓練の継続的な実施により、安全管理に必要な知識と技能の向上を図ります。

2. 計画骨子

社会環境の変化や、これまでの安全管理に対する認識より、4つのテーマを掲げて実行します。

テーマ	内容
安全管理体制の仕組み整備	各部門の業務内容に応じて、安全管理の継続的な改善が図れる仕組みを整備します。例えば、ISO14001のようなマネジメントシステムの仕組みを導入することを検討します。
潜在リスクの抽出・評価および低減	事故や労働災害を未然に防止するために、潜在的な危険を抽出・評価し、危険性が高いものから優先的に対策を行い、リスクの低減を図ります。
危機管理体制の充実・強化	初動体制や連絡体制等を見直し、事故・災害が発生した際の対応手順の充実を図ります。
教育訓練の計画的実施	教育・訓練の継続的な実施により、安全管理に関する能力向上やベテラン社員の技術・技能の伝承を図ります。

▶ 連結中期環境計画

1. 取り組みのポイント

- (1) 環境負荷低減への取り組み: 地球温暖化防止／土壌環境保全等の環境負荷低減の取り組みを行います。
- (2) 環境保全・啓発: 持続可能な社会実現に向けた取り組みを行います。

2. 計画骨子

テーマ	内容	
環境負荷低減	地球温暖化防止	製油所等生産拠点、物流の省エネ推進 目標: (コスモ石油) 第1約束期間でのエネルギー消費原単位△15% (90年度比) (対象会社) 各社目標を策定、推進
	有害物質／廃棄物対応 [※]	産廃ゼロ化への挑戦 目標: (コスモ石油) 最終処分率1%以下 (05-07年度平均) コンプライアンスの徹底 環境汚染物質／化学物質／産業廃棄物の管理徹底
	土壌対策	対象: 製油所等生産拠点／油槽所／SS／遊休地 サイト別方針に基づき、調査および結果に応じた迅速な対策、外部影響の未然防止、施設管理・運営管理の強化 等の施策を実施
環境保全・啓発	環境保全施策 [※]	オフィスクリーンの推進 コピー用紙、社有車燃料消費、事務所電力消費の削減 (05年度中に実施体制を構築、連結目標を策定し取り組む) グリーン購入の展開 事務用品／消耗品のグリーン購入、およびサプライヤーの環境対応ポトムアップをグループ(全事業所)で展開 各社／事業所の業容に応じた物品のグリーン購入の推進
	環境コミュニケーション	環境協力／貢献活動の推進 社会／環境貢献活動、コスモ石油「エコ」カード基金「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト、海外技術協力
		社会全体および各ステークホルダーを対象とした情報発信と双方向コミュニケーションの推進

[※]対象となるグループ会社26社共通の取り組み事項

▶ 連結中期人権・人事計画

1. 取り組みのポイント

- (1) 基本的な人権を尊重する人事施策を継続します。(基本的部分)
- (2) 多様性の尊重の精神に則り、「人」をキーワードに、より「明るく働きやすい職場」の実現と、社員のモチベーション向上を図ります。(付加価値的部分)

2. 計画骨子

テーマ	内容
人権(基本的な人権の尊重、強制・児童労働の禁止等)	人権研修の実施、海外事業所の人権調査、グローバルコンパクトへの署名検討
多様性尊重、機会均等(公正な採用・処遇の推進)	障がい者雇用推進(法:1.80%)、セクハラ等防止策の推進、公正な採用・処遇
職場の衛生(心身のヘルスケア増進策の推進)	ストレスチェックの実施、過労労働の健康障がい防止策、健康診断受診率100%
育成／能力開発(自律的キャリア形成の支援)	法的資格の取得の推進、人が育つ能力開発の支援、階層別教育の検証
福利厚生(職場と家庭の両立支援)	次世代育成支援法への対応、育児／介護休暇の推進、余暇活動の支援
雇用保証／創出(雇用の安定、セカンドキャリアの支援)	高齢者雇用安定法への対応、再就職支援の推進